

第 1 号議案

2022 年度の主な事業報告

2022 年度（2022 年 4 月～2023 年 3 月）の主な事業報告は以下のとおりです。

事業項目		主な事業	主な活動内容
1. 父母懇談会	支部	<ul style="list-style-type: none"> ・「父母懇談会」を 35 支部中、単独開催 20 支部、ブロック開催 8 ブロックで実施。(7/2～8/28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単独開催(会場開催) ・ブロック開催 15 支部(オンライン・会場参集併用開催) ・父母懇談会出席者 607 名 ・リモート個別相談 学修、キャリア形成
	首都圏	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京・神奈川・千葉・埼玉」の父母を対象に 3 キャンパスで開催 ・市ヶ谷キャンパス (10/2) ・小金井キャンパス (10/9) ・多摩キャンパス (10/15) 今年度より支部会員もオンライン参加を可能とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各キャンパスの常任幹事が実行委員となり企画、当日は幹事とともに役割分担し、運営 ・オンライン・会場参集併用のハイブリッド開催 ・各キャンパスの出席者数は市ヶ谷 686 名、小金井 449 名、多摩 413 名 ・リモート個別相談 学修 キャリア形成
2. 後援会活動の活性化と適正化		<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議へ参加 ・後援会活動の活性化、適正化に向けた討議 	<ul style="list-style-type: none"> ・支部長会議などを通じて、後援会活動のあり方などについて意見交換をした ・幹事会（常任幹事会）や支部長会議、各支部での会議、運営会議などを活用し、後援会活動の活性化と適正化に向け検討を重ねた ・HSC (HOSEI SPORTS COMMUNITY) 活動に参加
3. 支部における諸活動		<ul style="list-style-type: none"> ・「新入生父母の集い」を 22 支部で開催 (5/15～8/20) ・支部長会議への参加 ・会員相互の親睦を図るための企画及び実施 ・支部による学生課外活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生生活を中心とした情報を提供するとともに新入生父母の疑問や質問に答え不安解消に努めた ・支部新入生父母の集い出席者 214 名 ・支部長会議 (6/4 オンライン及び 11/12 オンライン・会場参集併用) ・支部の活動情報を後援会ホームページで情報発信
4. 学生・大学への助成		<ul style="list-style-type: none"> ・経済的困窮学生のための支援 ・大学行事、国際交流、大学備品購入、各種講座、就職活動、体育会系クラブ、課外活動、図書購入、全学生に配布する学生手帳作成、就職活動手帳及びインターンシップ手帳作成、その他の助成を実施 ・広報活動など補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩キャンパスへマイクロバス寄贈 ・地方支部出身学生に特化した支援 ・「法政大学後援会特別支援費」の積立 ・海外留学奨学金の助成 ・体育会助成やピアサポートなどの課外活動支援 ・後援会奨学基金経費負担助成 ・各キャンパス自主法政祭補助などの学生行事支援 ・広報誌「HOSEI」の作成費用補助

事業項目	主な事業	主な活動内容
5. 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌「法政」掲載の「後援会だより」、後援会ホームページの活用 ・ スポーツや文化活動の情報発信 ・ 「会員のための大学ガイドブック」の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後援会ホームページを活用し、会員向け情報や後援会の活動状況をタイムリーに配信 ・ 体育会スポーツ応援情報も掲載 ・ 各支部からの活動状況を配信 ・ 広報誌「法政」の誌面を利用し、後援会活動や体育会スポーツ応援情報を紹介 また、後援会ホームページにて配信 ・ 「会員のための大学ガイドブック」の改訂
6. 大学関係者との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学との各種懇談会の実施 ・ 校友会との相互連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学・校友会との三者共同委員会参加 (6/15) ・ 常任参与との懇談会実施 (6/30) ・ 大学最新状況報告会 (11/12) ・ 総長・学内理事との懇談会実施 (11/24) ・ 校友会との懇談会参加 (1/7)
7. 学生 (課外) 活動などのサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・ HSC (HOSEI SPORTS COMMUNITY) への財政支援、及び連携活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ HSC (HOSEI SPORTS COMMUNITY) への財政支援、及び連携活動 (箱根駅伝応援準備など)
8. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対外組織との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関西大学教育後援会との合同研修会を関西大学にて実施 ・ 「東京私立大学父母・保護者の会」事務局連絡会 (3/2)

参考資料

2022年度後援会関係行事

月 日	行 事
2022年 4月3日(日)	*『入学式』
4月9日(土)	* 第10回運営会議
5月14日(土)	* 第11回運営会議 * 幹事会【会場・オンライン】 * 新旧合同運営会議
5月15日(日)～8月20日(土)	* 支部新入生父母の集い(22支部)
5月21日(土)	* 新役員予定者説明会【会場・オンライン】 * 新役員キャンパス見学会 (市ヶ谷・小金井)
6月4日(土)	* 支部長会議【オンライン】 * 総会【WEB表決】 * 本部退任役員感謝状贈呈式
6月11日(土)	* 第1回運営会議 * 第1回常任幹事会 * 支部父母懇談会出張者打合せ会
6月15日(水)	* 大学・校友会との三者共同委員会
6月25日(土)	* 第2回運営会議 * 第2回常任幹事会 * 役員研修会【オンライン併用】
6月30日(木)	* 常任参与と運営委員懇談会
7月2日(土)～8月28日(日)	* 支部総会・父母懇談会(20単独支部【会場招集】、8ブロック【会場招集・オンライン・併用】)
8月1日(月)～8月21日(日)	* ブロック開催支部 電子表決期間
7月30日(土)	* オンライン学修個別相談
8月6日(土)	* オンライン学修個別相談
9月3日(土)	* 第3回運営会議 * 第3回常任幹事会
9月10日(土)	* 首都圏小金井事務部との打合せ
9月17日(土)	* 第4回運営会議 * 支部総会・父母懇談会反省会 * 首都圏市ヶ谷事前打合せ
9月24日(土)	* 首都圏多摩事務部との事前打合せ * オンラインキャリア形成(就職活動)個別相談
10月1日(土)	* オンライン学修個別相談 * オンラインキャリア形成(就職活動)個別相談
10月2日(日)	* 首都圏父母懇談会(市ヶ谷キャンパス)【会場・オンライン】
10月9日(日)	* 首都圏父母懇談会(小金井キャンパス)【会場・オンライン】
10月15日(土)	* 首都圏父母懇談会(多摩キャンパス)【会場・オンライン】
10月22日(土)	* 第5回運営会議 * 第4回常任幹事会(首都圏父母懇談会反省会)
11月5日(土)	*『第29回法政大学全国卒業生の集い「栃木大会」』
11月12日(土)	* 支部長会議【会場・オンライン】 * 大学最新情報報告会
11月18日(金)～19日(土)	*『関西大学教育後援会・法政大学後援会合同研修会【幹事校・関西大学】』
11月24日(木)	* 総長・学内理事と後援会懇談会
11月27日(日)	* オンライン学修個別相談 * オンラインキャリア形成(就職活動)個別相談
12月3日(土)	* 2022年度期中監査 * 第6回運営会議 * オンラインキャリア形成(就職活動)個別相談
2023年 1月7日(土)	* 新春講演会 * 校友会・後援会懇談会
1月14日(土)	*『長野県支部軽井沢慰霊碑献花式』
1月17日(火)	*『第44回観世寿夫記念法政大学能楽賞・第29回催花賞贈呈式』
1月29日(日)	*『2023年オール法政新年を祝う会(校友会)』
2月18日(土)	* 第7回運営会議
3月1日(水)	*『監督会新年会』
3月2日(木)	*『東京都私立大学父母・保証人の会事務局連絡会』
3月4日(土)	* 第9回運営会議 * 幹事会/後援会賞・外国人留学生表彰
3月23日(木)	*『2022年度法政大学体育会表彰式』
3月24日(金)	*『学位授与式』

第2号議案

2022 年度

決算書

法政大学後援会

2022年度決算書
2022年4月1日から2023年3月31日

経常費

【収入の部】

(単位:円)

科目(款)	2022年度 決算額
1.一般収入	228,280,000
2.雑収入	1,613,817
3.積立金・引当資産からの繰入	6,000,000
4.預り金収入	0
5.期末未収入金	0
6.未収入金収入	0
当年度収入合計(A)	235,893,817
前年度繰越金	201,147,393
収入合計(B)	437,041,210

【支出の部】

科目(款)	2022年度 決算額
1.自然災害等被災(含む、コロナ困窮)学生のための学生支援費	0
2.学生支援費	96,084,273
3.会員情報費	29,870,524
4.会員行事費	32,124,492
5.役員活動費	6,428,889
6.企画運営費	8,452,036
7.人件費	11,028,083
8.学生支援積立金への繰入	30,000,000
9.後援会積立金への繰入	0
10.後援会引当資産への繰入	1,000,000
11.未払金支払	55,795
12.前払金	84,240
13.予備費	349,250
14.期末未払金	△ 140,435
15.前期末前払金支払	△ 76,350
16.預り金支払	0
当年度支出合計(C)	215,260,797
当年度収支差額(A)-(C)	20,633,020
次年度繰越金(B)-(C)	221,780,413
支出合計(D)	437,041,210

監査書

法政大学後援会 2022 年度収支決算書を監査いたしました。
2023 年 3 月 31 日現在の経常費ならびに各種積立金の預金残高に相違ありません。

2023 年 5 月 6 日

監査 廣島 映一



監査 吉川 信宏



第 3 号議案

2023 年度の基本方針

法政大学後援会は、これまで築いてきた 75 年という長い歴史があり、その本分や趣旨、諸活動など脈々と受け継がれてきた伝統を踏襲するとともに、これらを守り続けていかなければならないことが数多くあります。しかし、大学を取り巻く環境や社会背景が時代とともに大きく変化し、さらには新型コロナウイルス感染症が引き起こした様々な混乱の影響が残るなか、後援会を支え合う私たちの生活スタイルや仕事、そして考え方なども以前とは様変わりしていることも事実です。

こうしたなか、後援会では「これからの 80 年、90 年、そして 100 年を見据え、持続可能な組織にするためにはどうあるべきか。」ということが大きな課題となっています。

2023 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止と、社会経済活動を取り戻すという世の中の大きな流れを踏まえ、これまでの活動内容を振り返るとともに、コロナ禍により失われた後援会活動の再スタートに向けた様々な検討と with コロナの取り組みを推進してまいります。

2023 年度事業計画の考え方

法政大学後援会は、入学と同時に学部生の保護者が加入しており、1947 年に設立された日本の大学では最も歴史と伝統がある組織です。

その活動目的は「大学の教育方針に則り、大学と学生、家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図る」ことにあります。

「子どもの母校は我が母校」を合言葉に、学生と大学を支援する一番の応援団として、次の活動を積極的に行います。

1. 学生や大学への助成

課外活動・学生行事・各種講座、スーパーグローバル大学事業に対する支援、奨学・奨励金などの学生支援を行うとともに、図書・備品などの大学への助成・寄贈を行います。

2. 会員向け企画の充実

父母懇談会は保護者が教育環境や学生生活を知る機会として首都圏と各支部で、新入生父母の集いは新入生保護者の不安解消を目的として支部の任意性の下で、それぞれ行なわれております。

新型コロナウイルス感染症等の状況により開催の中止も含めて再検討する場合がありますが、今後も大学と連携協力することにより、一層の充実を図ります。また、首都圏及び全国の支部では、校友会との交流も積極的に行います。

3. 広報活動の推進

広報誌「法政」の制作費などの補助を行います。また、「会員のための大学ガイドブック」を作成するとともに、後援会ホームページを充実させ、各活動報告やスポーツ応援などの情報発信を行います。

2023 年度の主な事業計画

2023 年度(2023 年 4 月～2024 年 3 月)の主な事業計画は以下のとおりです

事業項目		主な事業	主な活動内容
1.父母懇談会 (※1)	支部	・「支部総会」を 35 支部、「父母懇談会」を 20 支部、8 ブロックで開催(7/1～8/27)	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な後援会活動の一つである、父母懇談会については現会員の参加者数の増加と満足度向上を目指し取り組む。本年度も情報交換会や個別相談などの充実を図る。 ・支部総会・父母懇談会の開催については、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、各支部に開催方法を一任する。(開催が困難な支部においては、本部による支援を実施する) ・首都圏父母懇談会は、各キャンパスの特色を生かし、個別日程で開催予定。
	首都圏	・「東京・神奈川・千葉・埼玉」の父母を対象に3キャンパスで開催 市ヶ谷キャンパス(10/1) 小金井キャンパス(10/8) 多摩キャンパス(10/14)	
2.後援会活動の活性化と適正化		<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議へ参加(※1) ・後援会活動の活性化、適正化に向けた討議 	<ul style="list-style-type: none"> ・幹事会、常任幹事会、父母懇談会、支部長会議、運営会議などの各種会議を活用し、活動のあり方について意見交換を行うとともに、後援会活動の活性化と適正化に向けた検討を行う。
3.支部における諸活動(任意) (※1)		<ul style="list-style-type: none"> ・新入生父母の集い ・キャンパス見学や会員相互の親睦を図るための企画及び実施 ・支部による学生課外活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生父母の集いの開催については、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、各支部に開催方法を一任する。 ・学生生活を中心とした情報を提供するとともに、新入生父母の疑問や質問に答え、不安解消に努める。 ・支部の活動情報を後援会ホームページで情報発信する。 ・支部会員によるキャンパス見学会などの実施。
4.学生・大学への助成		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症、自然災害などにおける学生支援 ・経済的困窮学生のための支援 ・広報活動などへの補助 ・その他、学生・大学活動への助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症、自然災害などの影響によって困窮した学生への学習特別支援。 ・「法政大学後援会特別支援費」の積立。 ・大学行事、国際交流、大学備品購入、各種講座、就職活動、体育会系クラブ、課外活動、図書購入、全学生に配布する学生手帳作成、就職活動/インターンシップ手帳作成、その他の助成。 ・海外留学奨学金の助成。 ・体育会助成やピアサポートなどの課外活動支援。 ・後援会奨学基金経費負担助成の継続。 ・各キャンパス自主法政祭補助など学生行事支援。 ・広報誌「法政」の作成費用補助。
5.広報活動		<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「法政」掲載の「後援会だより」、後援会ホームページの活用 ・スポーツや文化活動の情報発信 ・「会員のための大学ガイドブック」の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会ホームページを活用し、会員向け情報や後援会の活動状況を配信。併せて、体育会スポーツ応援情報も掲載。 ・広報誌「法政」の誌面を利用し、後援会活動や体育会スポーツ応援情報を紹介。 ・「会員のための大学ガイドブック」の改訂。

事業項目	主な事業	主な活動内容
6.大学関係者との連携強化 (※1)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学との各種懇談会の実施 ・校友会との相互連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会と「総長・学内理事」、「副学長・学部長・学生センター長」、「常任参与」との各種懇談会の実施。 ・校友会との懇談会を実施するほか、校友会主催の諸行事や会議などへ参加。
7.HSC (HOSEI SPORTS COMMUNITY) ・学生支援 (※2)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生スポーツ応援と文化系学生の課外活動のサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学や校友会、後援会クラブとのスポーツ支援に関する連携。 ・HSC(HOSEI SPORTS COMMUNITY)への財政・活動支援。 ・東京六大学野球、ラグビー、アメフト、駅伝などの競技応援。 ・文化系活動の発表会などに関する情報発信について検討。
8.学生との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・学生による各種活動と後援会の連携検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生による各種活動と後援会の連携を図り、学生及び保護者に対して後援会活動の更なる理解促進を図ることを検討。
9.その他 (※1)	<ul style="list-style-type: none"> ・対外組織との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・関西大学教育後援会などとの交流及び連携。 ・「東京私立大学父母・保護者の会」事務局連絡会への参加。

※1 2023年度は、新型コロナウイルス感染症等の拡大状況により、活動内容や開催方法を都度判断する。

※2 各主団体の応援ガイドラインなどに基づきサポートを行う。

2023年度 収支予算書

2023年4月1日から2024年3月31日

経常費

【収入の部】

(単位:円)

科目(款)	2023年度 予算額
1.一般収入	229,589,000
2.雑収入	792,000
3.積立金・引当資産からの繰入	26,000,000
4.預り金収入	0
5.期末未収入金	0
当年度収入合計(A)	256,381,000
前年度繰越金	221,780,000
収入合計(B)	478,161,000

【支出の部】

科目(款)	2023年度 予算額
1.自然災害等被災(含む、コロナ困窮)学生のための学生支援費	20,000,000
2.学生支援費	98,764,000
3.会員情報費	30,171,000
4.会員行事費	47,656,000
5.役員活動費	20,659,000
6.企画運営費	17,809,000
7.人件費	11,976,000
8.学生支援積立金	31,000,000
9.後援会積立金	0
10.引当資産	1,000,000
11.未払金支払	0
12.前払金	0
13.予備費	10,000,000
14.期末未払金	0
15.前期末前払金支払	0
16.預り金支払	0
当年度支出合計(C)	289,035,000
当年度収支差額(A)-(C)	△ 32,654,000
次年度繰越金(B)-(C)	189,126,000
支出合計(D)	478,161,000

2023年度 法政大学後援会役員

【法政大学後援会会則抜粋】

第8条 第7条第1号から第6号までの役員については幹事会において役員の中から選出した選考委員をもって構成する選考委員会が次の各号により選出し、総会の議を経て決定する。

- (1)会長および副会長は常任幹事より選出し、総務は常任幹事または幹事より選出する。
 (2)常任幹事は幹事より選出する。(3)幹事は会員より選出する。(4)監査は相談役・顧問経験者より選出する。
 人数については 第7条に次のように規定している。

- (1)会長 1名 (2)副会長 4名以内 (3)総務 8名以内 (4)監査 2名 (5)常任幹事 全学年30名以内
 (6)幹事 各学年22名以内 (7)以下略。

1. 第8条1項3号 幹事は会員より選出する。

1年 幹事 22名

いちかわ しんじろう 市川 慎次郎	いとう かえ 伊東 果枝	おくやま さとし 奥山 敏	かねこ じゅんこ 金子 順子	きよおか いずみ 清岡 泉	ささき ひでお 佐々木 秀雄	すけがわ ちひろ 助川 千尋	たかつ なおてる 高津 尚晃
たかはし まこと 高橋 誠	たにやま ゆういち 谷山 雄一	なかがき こういち 中垣 貢一	ながくら あけみ 長倉 明美	はぎわら やすこ 萩原 泰子	はたけやま よういち 畠山 庸一	ひろせ こうじ 廣瀬 宏二	ふくだ つよし 福田 毅
ほしの みほこ 星野 美穂子	まつやま しげひろ 松山 繁博	むらい ちえ 村井 智枝	めの あいこ 目野 愛子	やまのうち あつし 山之内 淳史	わたなべ まき 渡部 真紀		

2年 幹事 22名

いざき みき 井崎 美妃	いしはら しゅうじ 石原 修二	いずみうら えみ 泉浦 絵美	おぎの けんじ 荻野 賢司	おさだ のぶはる 長田 信春	かまた ゆうこ 鎌田 祐子	かんの みほ 菅野 美穂	ぐんじ たかし 郡司 貴志
こうやま みさこ 幸山 美佐子	こだま さよこ 児玉 さよ子	さいき やすこ さい伯 康子	さいとう りか 齋藤 理香	さくらい としあき 櫻井 俊明	ささき ひでよ 佐々木 英世	さとう あきら 佐藤 晃	しま こうし 志満 光史
すなが さちよ 須永 幸代	ふじ たけ お 富士 豪生	もりかわ ひろし 森川 洋	やまがみ あきお 山上 晃央	やまかわ たかりはる 山川 隆治	やまぐち えみ 山口 恵美		

3年 幹事 21名

あかつか まきこ 赤塚 真紀子	いしづか よしあき 石塚 好明	おおた ひかる 太田 ヒカル	おかじま たけし 岡島 健	きたはし あすか 木田橋 あすか	さかい えみこ 坂井 英美子	じどうえ まさみ 地頭江 正美	しぶや みゆき 渋谷 美由紀
しもむら りえ 下村 利恵	たかはし ひろまさ 高橋 裕昌	たけひさ くみこ 竹久 久美子	たなか たけひろ 田中 豪博	とよだ としこ 豊田 稔子	つちたに じゅんじ 土谷 純二	なかにし ましひさ 中西 良尚	なかむら なおき 中村 直規
はやし ひろゆき 林 弘行	ほんだ みき 本田 美輝	まさやま ゆみこ 昌山 友美子	まるつか くみ 丸塚 久美	やまざき まさひこ 山崎 雅彦			

4年 幹事 20名

あらい けんいち 新井 健一	あらた えいさく 荒田 栄作	いなき ゆかり 稲木 裕加里	いわた としかず 岩田 敏一	おじま じゅん 尾島 淳	かんの いちろう 菅野 一郎	きた のりくに 喜多 紀州	くわばら ひろたか 桑原 宏隆
こいずみちえ 小泉 千恵	こいで ゆきこ 小出 由起子	こばやし こずえ 小林 こずえ	ささばやし まゆみ 笹林 真弓	しらとり たかし 白鳥 高	なかじまじゅんこ 中島 順子	はぎわら じゅんこ 萩原 順子	ませ よりひこ 間瀬 頼彦
よねもと あさえ 米元 麻枝	わさはら せいいちろう 和佐原征一郎	わたなべちえ 渡邊 千恵	さかもと たかし 坂本 隆				

2. 第8条1項2号 常任幹事は幹事より選出する。

常任幹事 30名

常任幹事(2年) 8名

いしはら しゅうじ 石原 修二	いずみうら えみ 泉浦 絵美	おぎの けんじ 荻野 賢司	かまた ゆうこ 鎌田 祐子	かんの みほ 菅野 美穂	こうやま みさこ 幸山 美佐子	ささき ひでよ 佐々木 英世	やまがみ あきお 山上 晃央
--------------------	-------------------	------------------	------------------	-----------------	--------------------	-------------------	-------------------

常任幹事(3年) 11名

おかじま たけし 岡島 健	さかい えみこ 坂井 英美子	じどうえ まさみ 地頭江 正美	しぶや みゆき 渋谷 美由紀	しもむら りえ 下村 利恵	とよだ としこ 豊田 稔子	ほんだ みき 本田 美輝	まさやま ゆみこ 昌山 友美子
まるつか くみ 丸塚 久美	はやし ひろゆき 林 弘行	やまざき まさひこ 山崎 雅彦					

常任幹事(4年) 11名

あらた えいさく 荒田 栄作	きた のりくに 喜多 紀州	こいずみちえ 小泉 千恵	こいで ゆきこ 小出 由起子	こばやし こずえ 小林 こずえ	しらとり たかし 白鳥 高	なかじまじゅんこ 中島 順子	はぎわら じゅんこ 萩原 順子
ませ よりひこ 間瀬 頼彦	わたなべちえ 渡邊 千恵	わさはら せいいちろう 和佐原征一郎					

3. 第8条1項4号 監査は相談役・顧問経験者より選出する。

監査 2名

いしい わたる 石井 亘	にしやま こうじろう 西山 広二郎
-----------------	----------------------

4. 第8条1項1号 会長および副会長は常任幹事より選出し、総務は常任幹事または幹事より選出する。

会長	わさはら せいいちろう 和佐原征一郎				
副会長	こいで ゆきこ 小出 由起子	こばやし こずえ 小林 こずえ	しらとり たかし 白鳥 高	わたなべちえ 渡邊 千恵	
総務	じどうえ まさみ 地頭江 正美	しもむら りえ 下村 利恵	とよだ としこ 豊田 稔子	まさやま ゆみこ 昌山 友美子	やまざき まさひこ 山崎 雅彦
	おぎの けんじ 荻野 賢司	ささき ひでよ 佐々木 英世			

以上12名